

3

年生

Studies in Sustainable Society II

持続可能な社会の探究 II

3年間の探究的な学習のまとめとなる「総合的な学習の時間」です。

「持続可能な社会の探究I」の成果をもう一度客観的にとらえ、

英字新聞の記事としてまとめる活動を行います。

各グループの探究の内容や成果を比較・検討して8～10本の記事に精選し、

世界中の同世代の若者を読み手として想定し、クラスごとの英字新聞という形で表現します。

英語による探究活動の成果共有と発信

受験を控えた3年生でも全員が取り組める探究的な活動として、「2年次に行った探究の成果を、異なる集団で共有し、まとめ直す」という方法が考えられます。過度な負担を避けつつ、様々な教科の学習で培った思考力や表現力を生かしながら、2年次の探究成果の再検証を行います。本校では、英語による探究的な学習成果の発信のため、一般社団法人グローバル教育情報センターのEnglish Newspaper Production Projectに参加し、「クラスごとの英字新聞作成による共有」を行っています。成果を単に英訳するのではなく、世界の同世代を読者とするを想定して英

字新聞を作成するという制約により、情報量(紙面)が限られている新聞記事の特徴を生かし、生徒たちは必要な情報を端的に客観的な英語で伝えることを意識します。これにより、まとめ直しの効果が高まります。また、英語科で学習したエッセーや意見文などのライティングと違う英文スタイルを学習する機会にもなっています。

クラスで1つの英字新聞を作成するために、記事作成班として8～10チームを構成します。これらのチームを束ねるのが、編集長を頂点とした3～5人程度のメンバーで構成する編集部です。編集部を中心に、「3年次にクラス全員で1つの英字新聞を作

成する」というミッションを生徒たちの手によって達成していきます。生徒同士で話し合い、記事にできる探究成果を絞り込み、記事を作成し、推敲するなかで、協働性や批判的思考力が養われます。特に編集部には、紙面割から記事内容や方向性の相談や指示、チームの進捗管理などが任されており、より高度なコミュニケーション能力やリーダーシップが要求されます。各クラス1名の担当教員は、編集部の相談役となり、生徒中心の活動を支援するとともに、担当教員間でも各クラスの進捗状況や取り組みの特徴を共有し、教員も1つのチームとして学年全体の活動を支えています。



クラスでの活動、グループでの活動、個人活動を組み合わせて新聞を作成していきます。日頃の授業も編集部が進行し、担当教員は必要に応じて助言します。